

茨城大学学報

第286号

平成21年8月～平成21年9月



教育学部B棟の様子

INDEX

- ◆茨城大「水戸黄門まつり」に今年も参加
- ◆「高等学校長協会等との連絡協議会」を開催
- ◆科学研究費補助金学内説明会を開催
- ◆図書館員が大学院生に授業
- ◆茨城大学学長学術表彰式及び講演会を開催
- ◆台湾靜宜大学と学生交流協定を締結
- ◆第4回茨城大学同窓会連合会総会及び懇親会を開催
- ◆平成21年度茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程学位記授与式を挙

茨城大学総務部総務課広報係

TEL 029-228-8008

FAX 029-228-8019

茨城大「水戸黄門まつり」に今年も参加

茨城大学は、去る8月8日（土）に水戸市内で開催された「水戸黄門まつり・市民カーニバル in MITO」に4年連続で参加しました。本学からは、山本事務局長をはじめとする教職員と学生らが集い、参加者は100名を超え、過去最多となりました。

この市民カーニバルは、水戸中央郵便局から大工町交差点までの往復約3kmの沿道を、「黄門ばやし」と「ごきげん水戸さん」の曲に合わせて踊りと装飾を競うもので、参加者は休憩を挟みながら4時間踊り続けました。途中雨に降られながらも、応援に駆けつけた本学の教職員や学生の励ましを受け、茨城大学を大いにアピールしました。

終了後に開催された懇親会では参加した教職員や学生が、充実感に浸りながら、早くも来年に向けて、まつりの参加に意欲を見せ、団結を深めました。



市民カーニバルに参加する茨城大学チーム



「高等学校長協会等との連絡協議会」を開催

茨城大学では8月18日（火）に、茨城県高等学校長協会等との連絡協議会を茨城大学茨苑会館において開催しました。

この連絡協議会は、「茨城大学と地元高等学校相互の教育活動の改善，充実を図ること」を目的として毎年行っているもので，今年度は24校の県立・私立高等学校長の出席がありました。

今回は協会からの希望により、協議会前に改修された施設を中心に水戸キャンパスの見学会が行われました。

協議会は，池田学長の挨拶に始まり，後藤茨城県高等学校長協会長の挨拶に続き，森野大学教育センター長から，「茨城大学の教育」について説明がありました。その後、意見交換が行われました。さらに，人文・教育・理・工・農の5学部長から学部のアドミッションポリシー，教育目的，カリキュラムの特徴，今後の取組み等の説明がありました。

質疑応答では，入試関係，就職関係，高大連携関係及び茨城大学への要望等についての質疑があり，今後の入学者選抜方法，教育目標や指導方針，高大連携の在り方について共通理解すると共に，相互の教育活動の改善や充実を図ることが認識でき，有意義な協議会となりました。



協議会の様子



希望者によるキャンパスツアー

科学研究費補助金学内説明会を開催

茨城大学は、去る9月9日（水）に水戸キャンパスにおいて、科学研究費補助金学内説明会を開催しました。この説明会は科学研究費補助金制度に関する意識向上と公的研究費の適正な執行を確保し、不正防止等の徹底を図るため毎年開催しているものです。今年度は、日本学術振興会から岡本和久氏を講師に招き実施しました。当日は、多くの教職員が参加し、その数は180名にのぼりました。

説明会は、池田学長の挨拶につづき、松田理事・副学長（学術担当）から茨城大学における科学研究費補助金の申請と採択状況についての説明が行われました。

続いて岡本氏から、「科学研究費補助金制度の最近の動向」と題し、科学研究費補助金の概要、審査・評価のしくみ、公募にあたっての留意点、平成22年度公募要領における主な変更点などについての講話がありました。

最後に、不正防止計画推進本部から公的研究費の不正防止、労務課から教職員倫理規程について説明が行われました。

説明会終了後には活発な質疑応答が行われ、参加者からは研究計画書を作成する上で参考になる充実した内容であったと、大変好評でありました。



講演中の岡本和久氏

図書館員が大学院生に授業

茨城大学図書館（松田智明館長）では、本年度初めて大学院共通科目「学術情報リテラシー」の授業を行いました。授業担当教員である小野寺淳副館長の指導のもと、8月10日（月）、11日（火）の2日間にわたり水戸地区で集中講義形式により41名の大学院生に対して実施しました。授業には10名の図書館員がそれぞれ講師や演習補助として参加しました。館員が中心となって正規の授業を行うのは、茨城大学はもとより全国的にも稀なケースです。



説明をする小野寺淳副館長

この授業は、図書館を活用した文献・情報収集の手法を、講義・演習によって習得させることを目的としたもので、院生に実践的に役立つ知識、技法をピックアップして企画しました。館員にとっては初めての試みであったものの、若手を中心に熱心に取り組んだ結果、授業後のアンケートではおおむね好意的な評価が得られました。



図書館員による授業の様子

茨城大学学長学術表彰式及び講演会を開催

茨城大学では、去る9月17日（木）に茨城大学学長学術表彰式及び講演会を開催しました。同大では平成二十一年五月に「国立大学法人茨城大学学長学術表彰制度実施要項」を制定しました。これは他機関から表彰を受けた優れた研究成果が対象で、各部局長からの推薦を受け、研究プロジェクト推進委員会で審査し、選考された研究者を学長が表彰する制度で、今年度から開始したものです。

今回は神永文人工学部長から推薦された四人が選考され、優秀賞に伊藤吾朗教授と小峯秀雄教授（出張中のため欠席）、奨励賞には小峰啓史准教授と藤田昌史講師がそれぞれ選考され、表彰状と記念品の盾を池田幸雄学長より贈呈されました。表彰式は会場に参集した四十人の拍手に包まれて無事終了し

ました。引き続き受賞者から今回の受賞対象となった研究内容の紹介がありました。この表彰式及び講演会の模様は、日立キャンパスと阿見キャンパスにもバーチャルキャンパスシステムで同時配信されました。



受賞者（前列左から藤田講師、神永工学部長、池田学長、伊藤教授、小峰准教授）と役員等との記念撮影

受賞者それぞれに贈られた楯



台湾靜宜大学と学生交流協定を締結

このたび茨城大学は、台湾靜宜大学と学生交流に関する協定を締結しました。

池田幸雄学長をはじめ、伏見厚次郎留学生センター長ら5名が訪台し、平成21年9月25日、俞明德靜宜大学校長のお出迎えをいただき、調印式に臨み、締結を果たしました。靜宜大学としては初の国立大学との大学間協定ということもあり、歓迎をいただき、今後の学生交流の推進及び両大学間の関係促進が約束されました。

靜宜大学（英語名：Providence University）は共学の私立大学で、外国語文学部、人文社会科学部、理学部、経営学部、コンピューター情報学部の5つの学部から構成されており、日本語や日本文化を学ぶ学生は外国語文学部の日本語文学系(学科)に所属しています。日本への留学を希望する学生が多く、本学はここで学ぶ学生を交換留学生として受け入れることとなります。また、華文センターがあり、本学からの派遣学生が中国語や台湾文化を学ぶことができます。



調印式に臨む池田学長（左）と俞明德靜宜大学校長（右）

第4回茨城大学同窓会連合会総会及び懇親会を開催

平成21年9月26日(土)に茨城大学茨苑会館において、11時から第4回茨城大学同窓会連合会総会が開催されました。

総会は、堀川会長の挨拶に始まり、議事として①平成20年度事業及び会計報告②平成20～21年度役員について③平成21年度事業計画及び予算について④次年度以降の本総会の開催時期について、佐藤代表幹事及び事務局から説明があり、審議の結果、次年度以降の本総会の開催時期については、10月初旬の土曜日の開催とすることが満場一致で承認されました。

また、12時から会場を茨苑会館「SHIEN」に移し、懇親会が開催され、茨城大学同窓会連合会、各学部同窓会、職域・地域同窓会及び茨城大学の関係者が約40名ほど出席し、茨城大学からの近況報告や各学部同窓会及び職域・地域同窓会からの活動報告など、終始和やかな中で情報交換を図ることができました。

最後は、参加者全員で茨城大学校歌を斉唱し、今後も同窓会と大学が密接な連携を保ちながら、活動していくことを祈念して閉会となりました。

平成20～21年度役員

名誉会長	池田 幸雄	(茨城大学長)
顧問	白石 昌武	(茨城大学副学長)
〃	松田 智明	(茨城大学副学長)
会長	堀川 賢壽	(教育学部同窓会会長)
副会長	野口 芳男	(文理・人文学部同窓会会長)
〃	鈴木 昌友	(理学部同窓会会長)
〃	木曾 正明	(多賀工業会会長)
〃	赤塚 尹巳	(農学部同窓会会長)
代表幹事	佐藤 瑛一	(教育学部同窓会幹事長)
幹事	飯塚 和之	(文理・人文学部同窓会幹事長)
〃	金子 一夫	(教育学部同窓会幹事)
〃	佐久間 隆	(理学部同窓会常任幹事)
〃	小林 正典	(多賀工業会幹事長)
〃	中村 豊	(農学部同窓会幹事長)

会計監事 佐藤 和夫 (文理・人文学部同窓会幹事)
 // 鈴木 忠和 (理学部同窓会常任幹事)



総会の様子

平成21年度茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程 学位記授与式を挙行

平成21年9月30日（水）、本部事務局第2会議室において大学院理工学研究科博士後期課程の学位記授与式を挙行し、課程博士5名、論文博士1名の計6名（2名が欠席）に学位記が授与されました。

列席者が見守る中、修了生らは池田学長から学位記を授与されました。池田学長は告辞にて、これまでの修了生たちの努力した結果を賞賛するとともに、急速に変化する社会に適確に対応し、実力をさらに高めて活躍されることを期待していると述べました。また、神永理工学研究科長からも祝辞がありました。

学位記授与式終了後開かれた修了生と指導教員をはじめとした本学教職員との懇談会では、学長ら役員から各々激励の言葉が述べられ、門出を祝いました。



修了生と役員等との記念撮影